

決算補足資料(2025年3月期 第2四半期〔中間期〕)

2024年11月6日 / 株式会社シグマクシス・ホールディングス (証券コード:6088)



2025年3月期 第2四半期〔中間期〕 決算概況

- 連結売上高125.5億円、経常利益30.0億円。業績動向を踏まえ、2025年3月期連結業績予想を修正。連結売上高予想は260億円(修正前250億円)、経常利益予想は56.5億円(修正前53億円)。
- コンサルティング事業:売上は前年同期比20%増。顧客の旺盛な需要にともない、外注が増加し、社内人財の稼働率も上昇。
- 投資事業:上場株式の一部を売却。また、9月末に上場株式の減損処理を実施。

単位:百万円	2024年3月期 第2四半期 (4~9月)	2025年3月期 第2四半期 (4~9月)	対前年同期 増減率	2025年3月期 連結業績予想	業績予想 進捗率
連結売上高	10,639	12,558	+18%	26,000	48%
(コンサルティング事業)	10,451 (※)	12,543 (※)	+20%		
(投資事業)	262 (※)	102 (※)	▲61%		
経常利益	2,087	3,002	+44%	5,650	53%
(経常利益率)	19.6%	23.9%			
中間純利益	1,544	2,292	+48%		
自己資本比率	76%	76%			

※ セグメント間の内部売上高等含む。

2025年3月期 第2四半期〔中間期〕 連結損益計算書

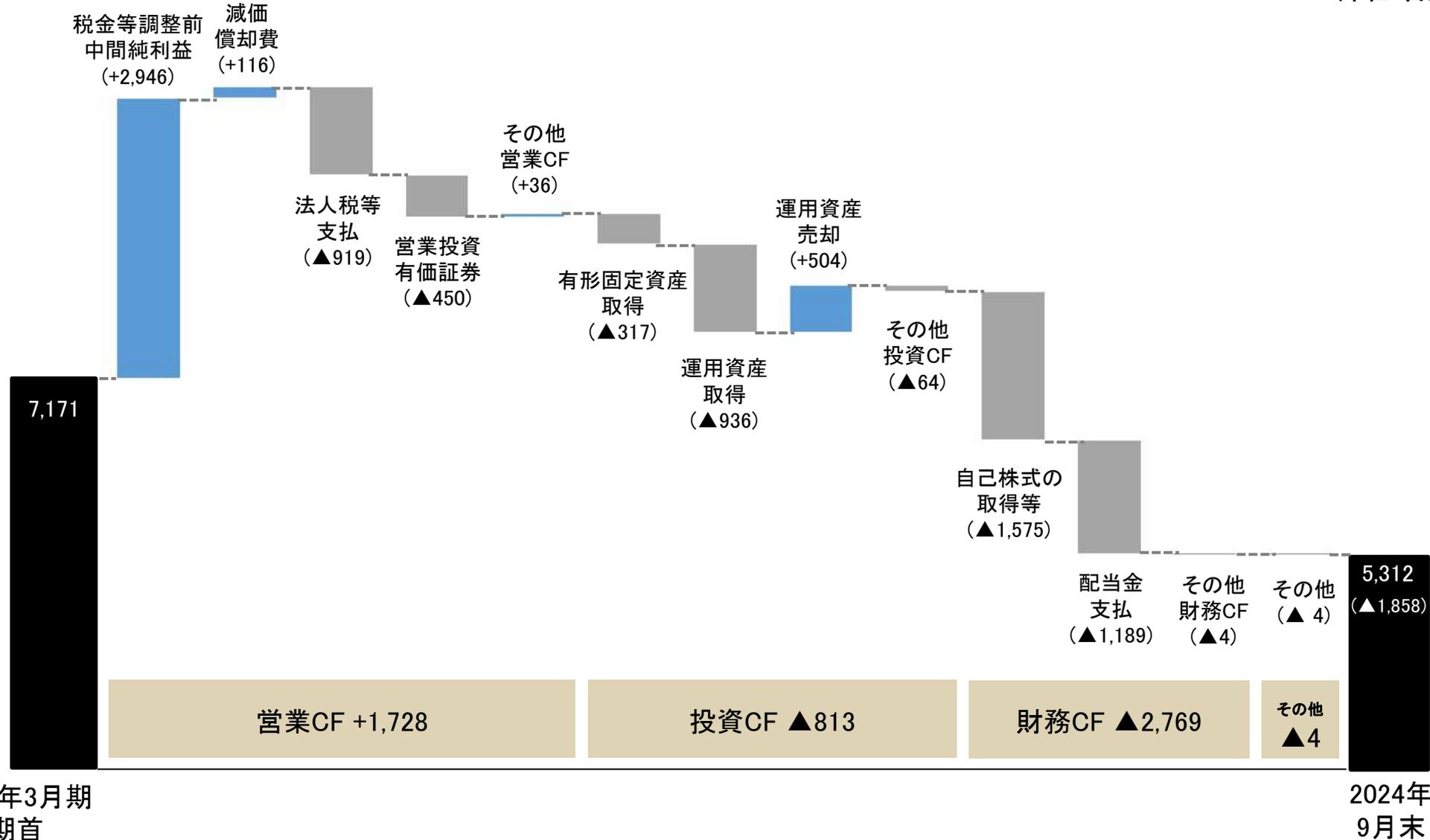
単位:百万円	2024年3月期 第2四半期 (4~9月)	2025年3月期 第2四半期 (4~9月)	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	10,639	12,558	+1,918	+18%	
売上原価	5,678	6,910	+1,232	+22%	・旺盛な顧客需要に対応した外注費の増加、労務費の増加
売上総利益	4,961	5,647	+686	+14%	・稼働率の上昇及び報酬増に比例した単価増にともなう売上高の増加
販管費	2,945	2,810	▲135	▲5%	・本社オフィス増床に伴う原状回復費用の戻入れ、採用費の減少、その他全社費用のコントロール
営業利益	2,016	2,837	+821	+41%	・売上高の増加及び販管費の削減による増加
経常利益	2,087	3,002	+914	+44%	・投資有価証券売却益による増加
税金等調整前 中間純利益	2,087	2,946	+858	+41%	
中間純利益	1,544	2,292	+748	+48%	
中間包括利益	1,367	2,178	+811	+59%	

2025年3月期 第2四半期〔中間期〕 連結貸借対照表

単位:百万円	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期末	対前期末	主な増減
流動資産	14,463	12,856	▲1,607	・現金及び預金の減少
現金及び預金	7,171	5,312	▲1,858	
固定資産	3,831	4,964	+1,133	・本社オフィス増床による建物等の増加 ・投資有価証券の増加
資産合計	18,295	17,821	▲474	
流動負債	3,913	3,738	▲174	・未払金等の減少
固定負債	1,188	529	▲658	・役員株式給付引当金の減少
負債合計	5,102	4,268	▲833	・借入金無し
純資産	13,193	13,552	+359	
自己資本比率	72%	76%	—	

連結キャッシュフローの推移

(単位: 百万円)



2025年3月期 第2四半期〔中間期〕セグメント別業績 概況

単位:百万円	2024年3月期 第2四半期 (4~9月)	2025年3月期 第2四半期 (4~9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	10,639	12,558	+1,918	+18%
（コンサルティング事業）	10,451	12,543	+2,091	+20%
（投資事業）	262	102	▲160	▲61%
（内部取引）	▲74	▲86	▲12	—
セグメント利益	2,943	3,662	+718	+24%
（コンサルティング事業）	2,966	3,779	+813	+27%
（投資事業）	▲22	▲117	▲95	—
売上高セグメント利益率 [※]	27.5%	29.0%	+1.5pts	—
（コンサルティング事業）	28.4%	30.1%	+1.8pts	—
（投資事業）	—	—	—	—

※ 売上高セグメント利益率は売上高にセグメント間の内部売上高等を含んで算出。

重要業績評価指標 (KPI)

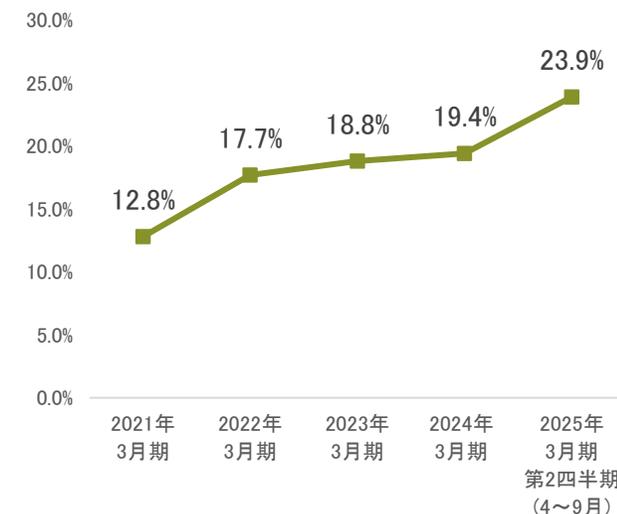
	2024年3月期 第2四半期(4~9月)	2025年3月期 第2四半期(4~9月)	対前年同期比
連結売上高 経常利益率	19.6%	23.9%	+4.3pts

コンサルティング事業		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	対前年同期比
コンサルタント数		584	612	+5%
プロジェクト 満足度(NSI*)		94	98	+4pt

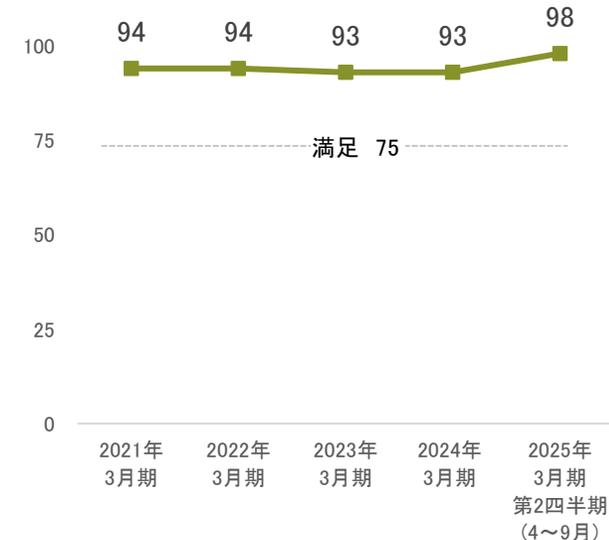
投資事業		2024年3月期	2025年3月期 第2四半期末	増減
投資残高		約37億円	約41億円	+約4億円

* NSI(Net Satisfaction Index):プロジェクト満足度評価の各設問五段階評価結果の平均点。クライアントのプロジェクトオーナーにアンケート形式で実施。五段階評価は、5:大満足 100点、4:満足 75点、3:どちらとも言えない 50点、2:不満 25点、1:大不満 0点で配点。

経常利益率推移



プロジェクト満足度推移

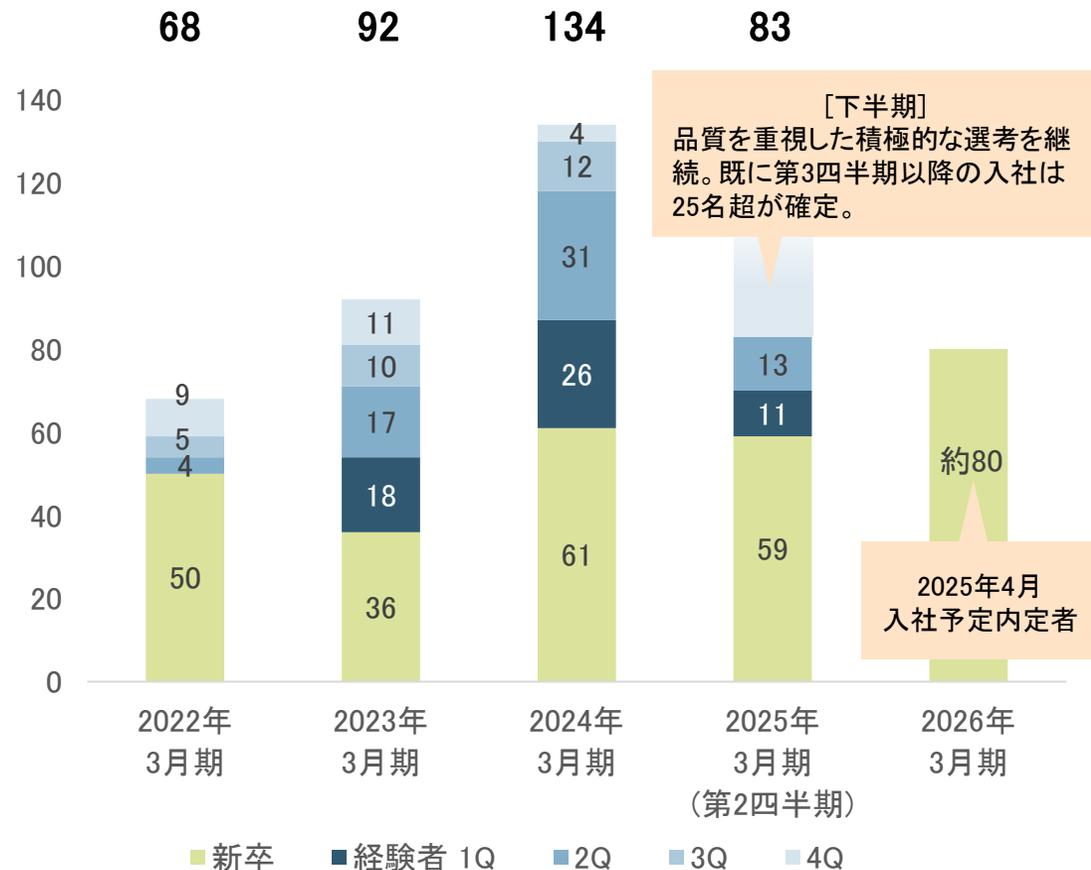


採用活動

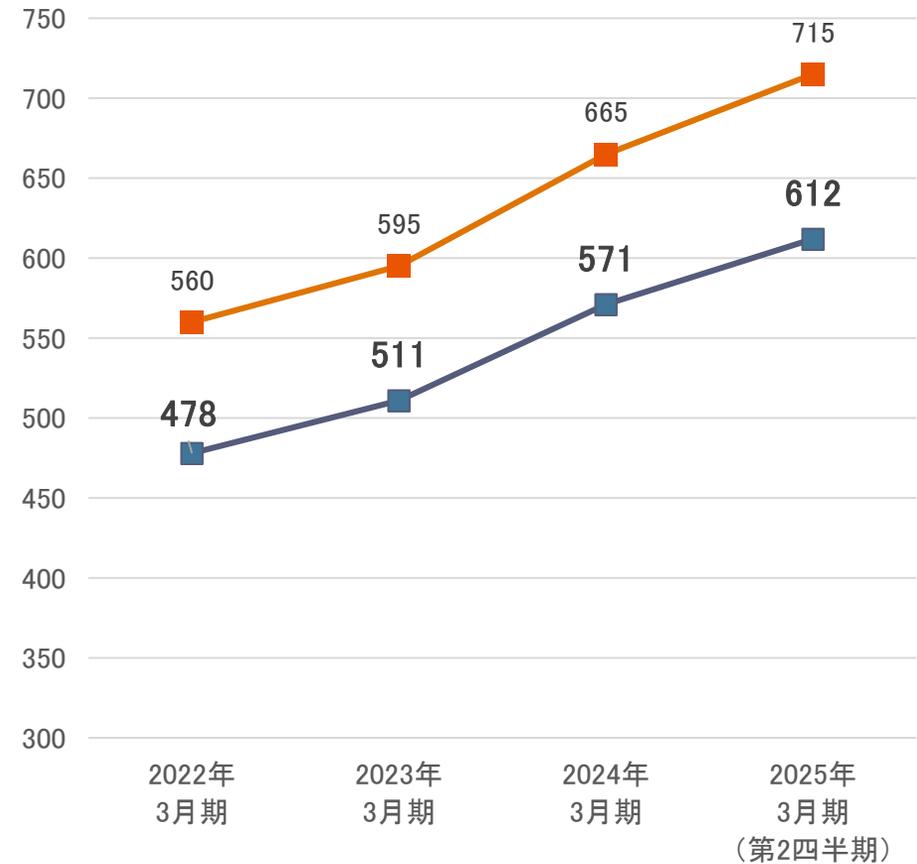
上半期に経験者24名、新卒59名が入社。

- 経験者採用: 下半期、品質を重視した積極的な選考を継続。既に第3四半期以降の入社は25名超が確定。
- 新卒採用: 2025年4月の入社予定内定者は約80名。

年間採用人数(コンサルタント) 単位:人

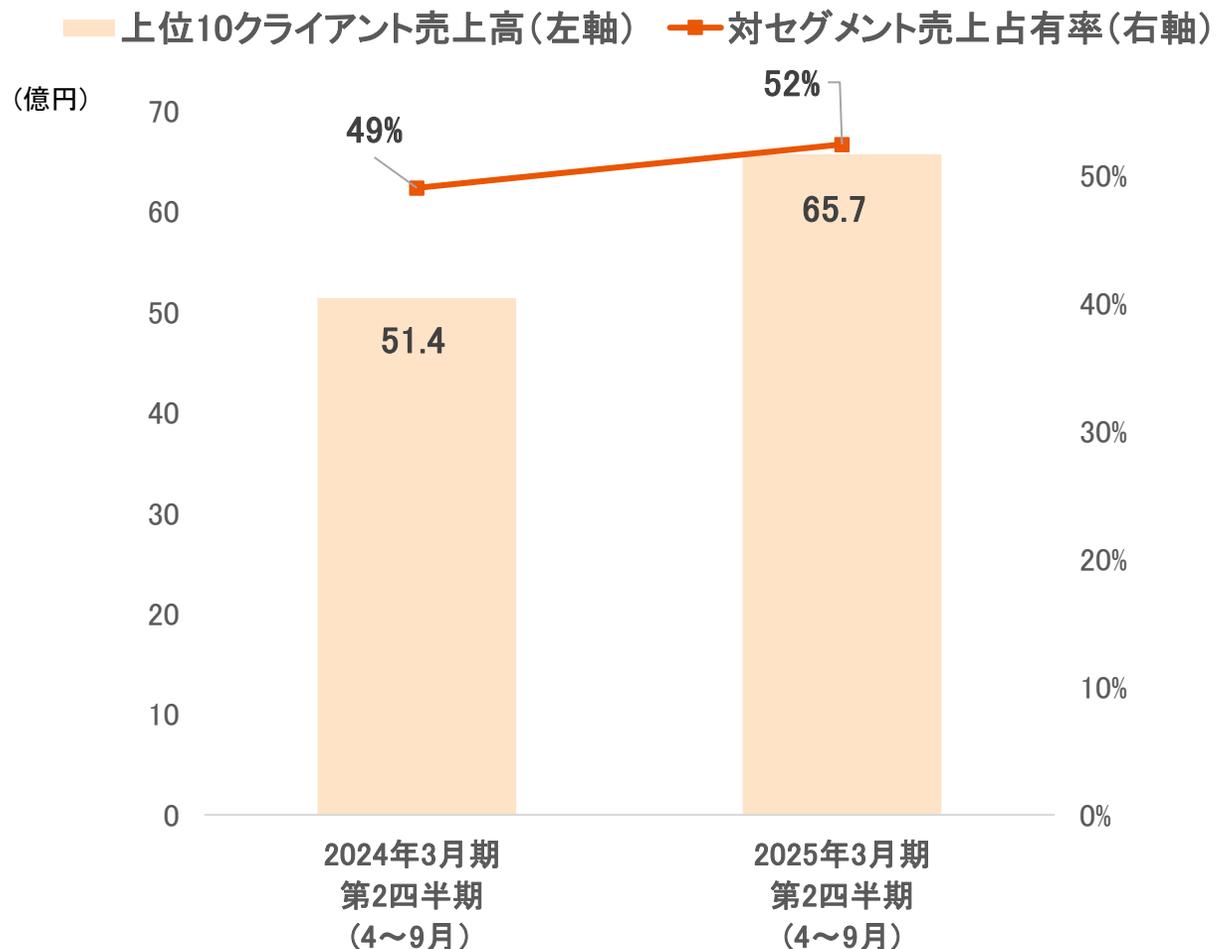


グループ社員数(■)・コンサルタント数(■) 単位:人



セグメント情報:コンサルティング事業

- ・ 社内人財の稼働率は引き続き計画値を上回って推移し、売上高が大幅に伸長。
- ・ 産業別では、運輸、金融、情報通信、小売、商社、製造業が顧客層の中心。



(参考) (株)シグママックスのプロジェクト数、クライアント数、契約あたり売上

	2024年 3月期 第2四半期 (4~9月)	2025年 3月期 第2四半期 (4~9月)	対前年 同期比
プロジェクト数 *	615	611	▲1%
クライアント数 **	136	133	▲2%
契約あたり売上 (百万円)	16.9	20.3	+20%

全ての数値はSXFを除いて集計しています。

* プロジェクト数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトを契約単位で集計。

** クライアント数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトのクライアントを法人単位で名寄せして集計。

主な公開プロジェクト事例

基幹システムのSaaS化支援

- 国際フォワーディング業務でのSaaS活用(商船三井ロジスティクス様)
- ERPのクラウド化 (NTT-AT様、SOLIZE様)

デジタル・トランスフォーメーション推進支援

- 「Co-CIOサービス」によるIT組織体制改革・業務改善支援(SOMPOダイレクト損害保険様)
- 法人向けDX人材育成プログラムの開発支援(ドコモgacco様)

新規サービス立上げ支援

- 新規事業開発・運営支援(ジャルパック様)
- 新規事業構想・開発プロジェクト支援(エイチ・ツー・オー リテイリング様)
- **最新事例** XRグラスメーカーの事業立上げ・商品開発支援(NTTコノキューデバイス様)

AIの活用

- 「生成AI研究ラボ」 生成AIサービス導入(伊藤忠商事様)
- AIを活用した中古カメラの価格改定自動化支援(シュッピン様)

PMO(プログラム・マネジメント・オフィス)

- SAKURAプロジェクト(日本航空様)
- 国内線運賃刷新プロジェクト(日本航空様)
- 業務・システムの標準化および高度化の取り組みにおけるプロジェクト・マネジメント・オフィス(商船三井様/商船三井ドライバルク様)

- GX戦略立案、新たな環境・エネルギー事業の実行支援(アズビル様)
- 「IoT機器・遠隔診療機器等を活用した医療・介護連携に関する調査」(内閣府様、筑波大学様)
- 「培養肉未来創造コンソーシアム」を設立
- 経営プラットフォーム改革(東洋アルミニウム様)
- 新たなまちづくりで東急株式会社と協働(東急様)
- 環境に配慮した自律分散型次世代インフラの検討(長野県小布施町様)

XRグラスメーカーの事業立ち上げ・商品開発支援

XRグラスの開発と普及を通じ、リアルとバーチャルが融合した“新”時代の実現を目指す株式会社NTTコノキューデバイス様(以下、NTTコノキューデバイス様)の事業立ち上げ・商品開発を、シグマクシスが支援。

株式会社NTTコノキューデバイス様は、2023年4月に株式会社NTTコノキュー様とシャープ株式会社様のジョイントベンチャーとして、2023年4月に設立。デバイスメーカーとしての事業立ち上げ後、XRグラス企画/開発、プロモーション、パートナー開拓を続け、2024年10月に法人・開発者向けの国産XRグラス“MiRZA”(ミルザ)を一号機として発売。二号機の開発にも着手している。

シグマクシスはXR領域の豊富な知見を活かし、NTTコノキューデバイス様の会社設立、事業運営体制構築、商品開発、販売・プロモーションなどを、幅広く支援。今後も同社の事業成長に向けて、シェルパとして継続的に支援を行う。

NTTコノキューデバイス様初の
プロダクトとなるグラス型XRデバイス



関連リンク:

株式会社NTTコノキュー様プレスリリース:NTTコノキューとシャープが合弁会社「株式会社NTTコノキューデバイス」の事業を開始
https://www.nttqonoq.com/news/20230327_01/

軽量でワイヤレス、高性能なXRグラス「MiRZA」を発表 | 株式会社NTTコノキューデバイス | NTT QONOQ Devices, Inc. <https://www.devices.nttqonoq.com/news/20240909.html>

軽量・ワイヤレス・高性能な、国産XRグラス「MiRZA」を10月16日より発売 | 株式会社NTTコノキューデバイス | NTT QONOQ Devices, Inc
<https://www.devices.nttqonoq.com/news/20241009.html>

各分野のプロフェッショナルによる情報発信(主なセミナー登壇)

生成AIの活用

溝畑彰洋 (シグマクス 常務執行役員)
新井克人 (シグマクス ディレクター)



- 7月9日(溝畑)
キヤノンITソリューションズ共想
共創フォーラム2024
- 7月19日・25日(溝畑・新井)
日経BPセミナー「ChatGPTなど
生成AIの企業導入と事業への活
用手法」

未来の製造業

桐原慎也
(シグマクス 常務執行役員)



- 5月10日・7月23日・10月25日
第8回・9回・10回 AM(Additive Manufacturing)研究会
- 9月27日
金型技術研究会、都田アソシエイツ、ソフトウェア産業振
興研究委員会(浜松)
「未来のものづくり～デジタル×フィジカルの交差点」
- 10月24日
HP Digital Manufacturing Summit 2024基調講演

物流の未来

池田祐一郎
(シグマクス
ディレクター)



- 9月10日
国際物流総合展
2024「2034年 野村
不動産が考える物
流の未来」

デジタルツイン

馬越龍太郎
(シグマクス
ディレクター)



- 10月28日
ハイテク推進セ
ミナー「デジタル
変革(DX)とデ
ジタルツイン」

MaaS

木村迅 (シグマクス プリンシパル)

- 10月17日 第5回事業創出ミートアップin東京
「MaaSを軸とした街づくりの最前線」

GX・環境

前田雄大 (シグマクス プリンシパル)

- 群馬県、山形県米沢市、島根県雲南市の環境アドバイザーとして活動する
ほか、企業、地方自治体、大学向けの講演を多数実施

フードテック

福世明子 (シグマクス プリンシパル)

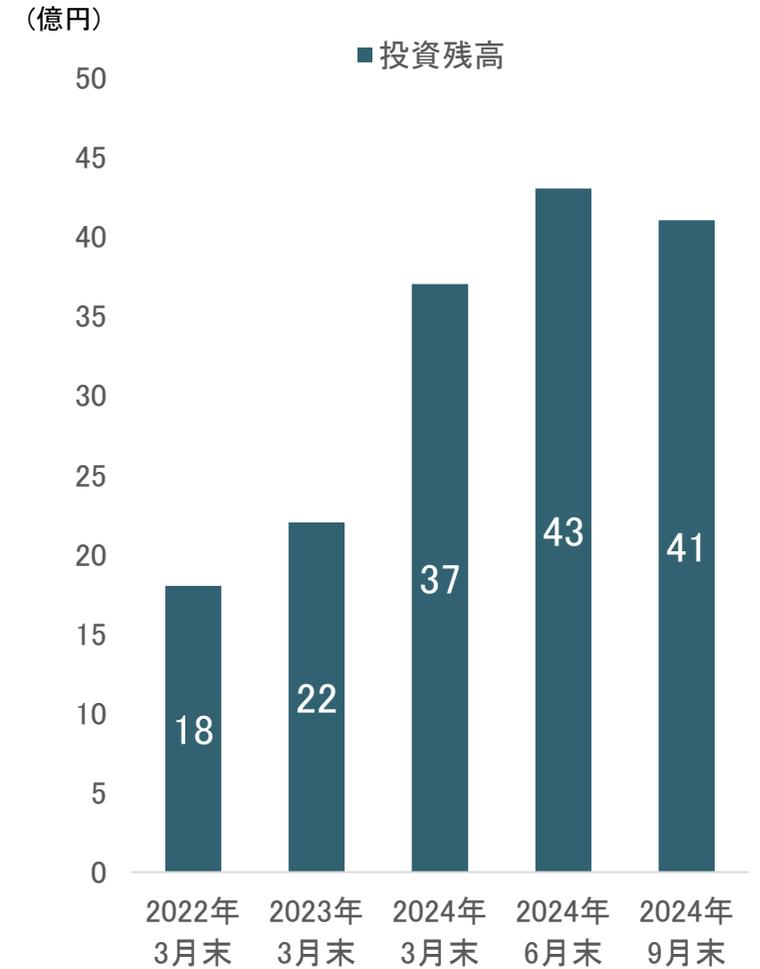
- 5月10日 Social Co-Creation Summit Liquid 2024
- 7月5日 食の未来のカンファレンス

関連リンク: シグマクス・グループ ニュース <https://www.sigmaxyz.com/ja/news.html>

セグメント情報：投資事業

- 上場株式の一部を売却。また、9月末に減損処理を実施。評価差額を含む投資残高は9月末時点で約41億円。引き続き社会的な価値共創に資する投資を推進。

出資年	社名
2018	ギリア株式会社
2019	Creww株式会社
	株式会社モンスターラボホールディングス(東証グロース市場 5255)
2022	自然電力株式会社
	株式会社eWeLL(東証グロース市場 5038)
	フォレストエナジー株式会社
	株式会社メンタルヘルステクノロジーズ(東証グロース市場 9218)
	株式会社ドラEVER
2023	GVA TECH株式会社
	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
	株式会社ソーシャルインテリア
2024	株式会社ユカリア
	シュッピン株式会社(東証プライム市場 3179)



日本航空株式会社と共に子どもたちへ「夢の力」を伝える特別授業を実施

「二條実穂 Dream Power Project」 2社共同での特別授業を札幌市の小学校に向けて開催

「二條実穂 Dream Power Project」は、当社所属アスリートでパラリンピアン^①の二條実穂（車いすテニス、2019年5月現役引退）が小・中学生向け「夢の力」をテーマに授業を行う取り組み。「夢を持つこと」が人生の大きな力になることを伝えるとともに、多様性の尊重について共に考え理解を深めることを目指し、2023年度は北海道札幌市内の小・中学校計32校（約6,000名）に対して授業を行った。

10月10日に2社共同で札幌市で開催した特別授業では、二條による「夢の力」や「ダイバーシティ」をテーマとした講演に加え、日本航空様による「飛行機での旅を支える仕事」や「アクセシビリティ＝移動における多様性」をテーマとした講演、児童たちとの意見交換などを実施した。

 SIGMAXYZ
CREATE A BEAUTIFUL TOMORROW TOGETHER

 JAL
JAPAN AIRLINES



関連リンク: プレスリリース https://www.sigmaxyz.com/ja/news/release_240927.html

2025年3月期 連結業績予想

2024年11月6日修正

単位:百万円	前期 2024年3月期 実績(A)	2024/5/29 発表予想 (B)	今回 修正予想 (C)	増減額 (C-B)	前期比 増減率 (%) (C/A)	2025年3月期 第2四半期 (4~9月)実績	進捗率
売上高	22,410	25,000	26,000	+1,000	+16%	12,558	48%
営業利益	4,232	5,250	5,450	+200	+29%	2,837	52%
経常利益	4,338	5,300	5,650	+350	+30%	3,002	53%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,232	3,900	4,100	+200	+27%	2,292	56%

修正理由:

- 旺盛な需要を背景に、単価の上昇とビジネスパートナーの活用に加え、社内人財の稼働率が計画値を上回って推移しており、売上高が伸長いたしました。下半期も同様の傾向が見込まれるため、業績予想の修正をすることいたしました。

(注) 連結業績見通しにおいて、投資事業はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなる可能性があります。現時点で把握可能な情報に基づき業績予想を行っております。

配当方針

2024年11月6日修正

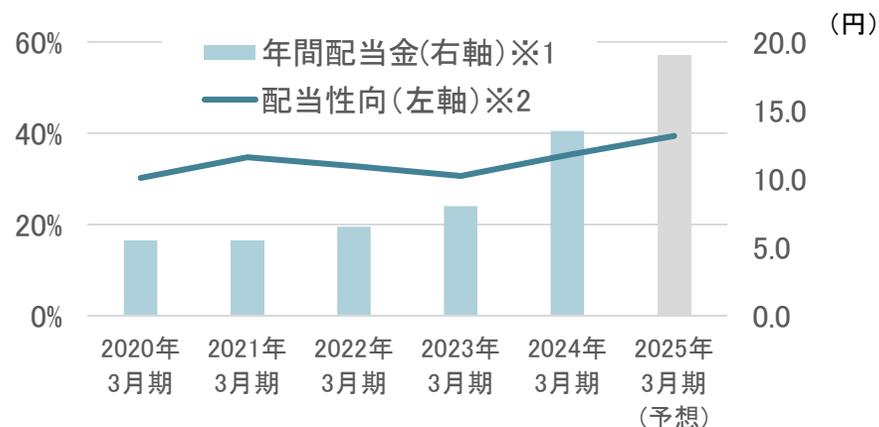
- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。

業績予想の変更および2024年12月1日を効力発生日とする株式分割(1株につき2株の割合をもって分割)に伴い、配当予想額を修正することといたしました。株式分割前に換算した2025年3月期の配当予想額は、直近の配当予想より1株当たり4円増配することといたしました。

	2024年3月期 実績 (A)	2025年3月期 前回発表予想 (2024/5/29) (B)	2025年3月期 今回修正予想 (B)	対前期実績 増減 (B-A)
年間配当金／一株当たり (株式分割前換算)	27円	34円	19円 (38円)	(+11円)

(注)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

(参考)年間配当金および配当性向の推移



※1 当社は2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております(①)。また、2024年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定です(②)。左図は、2020年3月期の期首に当該①・②の株式分割が行われたと仮定し年間配当金額を記載しております。

※2 当社は配当性向について目標を定めておりません。

(参考) 2025年度〔2026年3月期〕ありたい姿

- 旺盛な需要に対し、外注活用を増加して対応したことで連結売上高が想定を超えるペースで伸長。その結果、当社グループの中長期の成長イメージ「2026年3月期『ありたい姿』」の連結売上高250億円については1年前倒しで達成する見通し。
- 引き続き、2026年3月期の経常利益70億円に向けて、コンサルティング事業の成長を加速し、投資事業からの利益貢献を目指す。

(参考) 2025年度〔2026年3月期〕ありたい姿

2022年8月公表

	2026年3月期 ありたい姿	2023年3月期 連結業績予想	年平均成長率 (CAGR)
連結売上高	250 億円	172 億円	13%
経常利益	70 億円	32 億円	30%
利益率	28%	19%	-
人員数	約800 名	約600 名	約10%

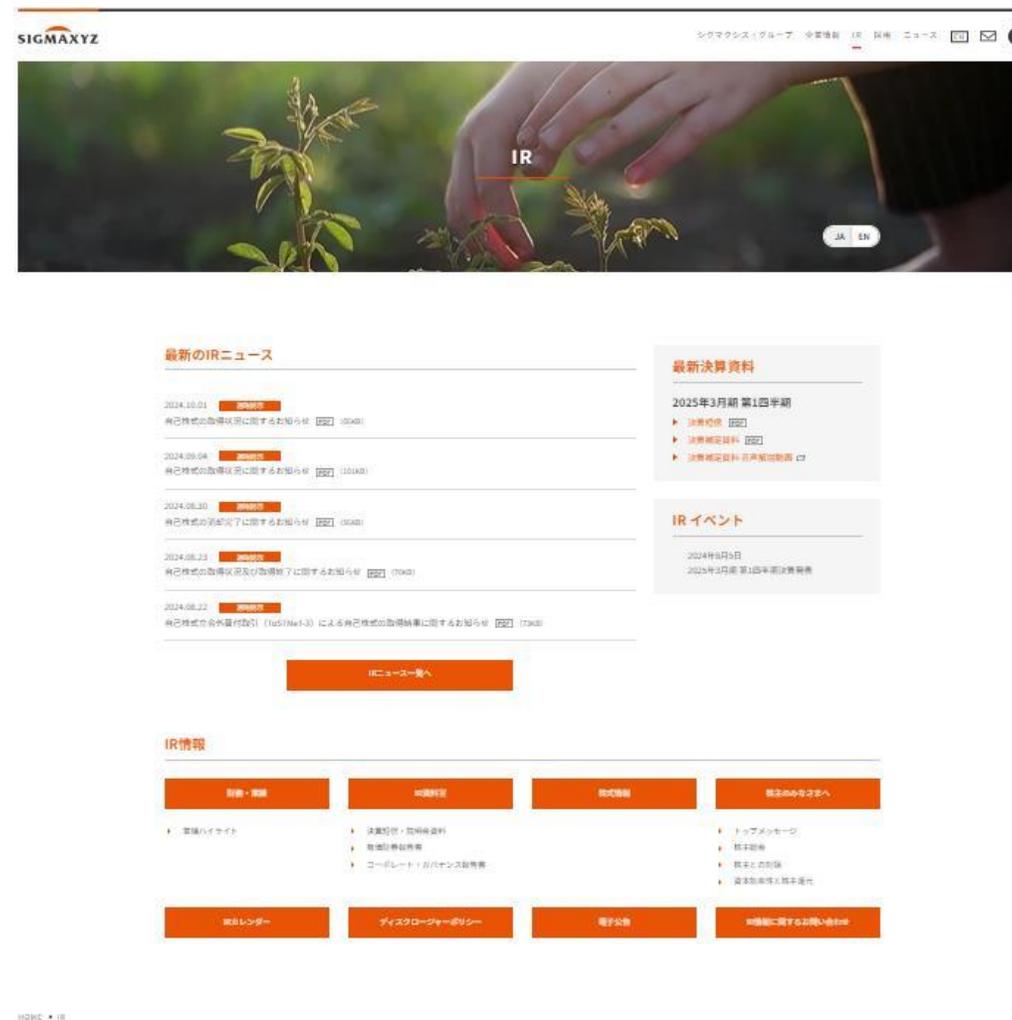
- 当社グループは、昨今の変化の激しい環境においては、毎年機動的に戦略を見直し、翌年度事業計画に反映していくことが望ましいと考えているため、中期経営計画を策定しておりません。
- 「ありたい姿」は、当社グループの中長期の成長イメージを株主・投資家の皆さまと共有する目的で、数年ごとに参考情報として公表しています。

(参考)ウェブサイト IR関連コンテンツの拡充

- 決算発表当日の18時に本資料の音声解説を掲載。また、2025年3月期第2四半期(中間期)より、書き起こしテキストを掲載開始(決算発表日より5営業日後に公開予定)。
- 2024年5月に「株主との対話」「資本効率性と株主還元」のページを更新／新規追加
- 決算短信・補足資料、株主総会関連資料、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書の参考英文資料・動画を掲載。



<https://www.sigmaxyz.com/ja/ir.html>



本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマックス・グループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまとっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマックス・ホールディングスは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマックス・ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: www.sigmaxyz.com

問い合わせ先: sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com

